

STEP 1
事業説明・事前調査
10月訪問

体カアップ体操教室参加者のアクティブシニア540名を対象、市内28カ所を訪問

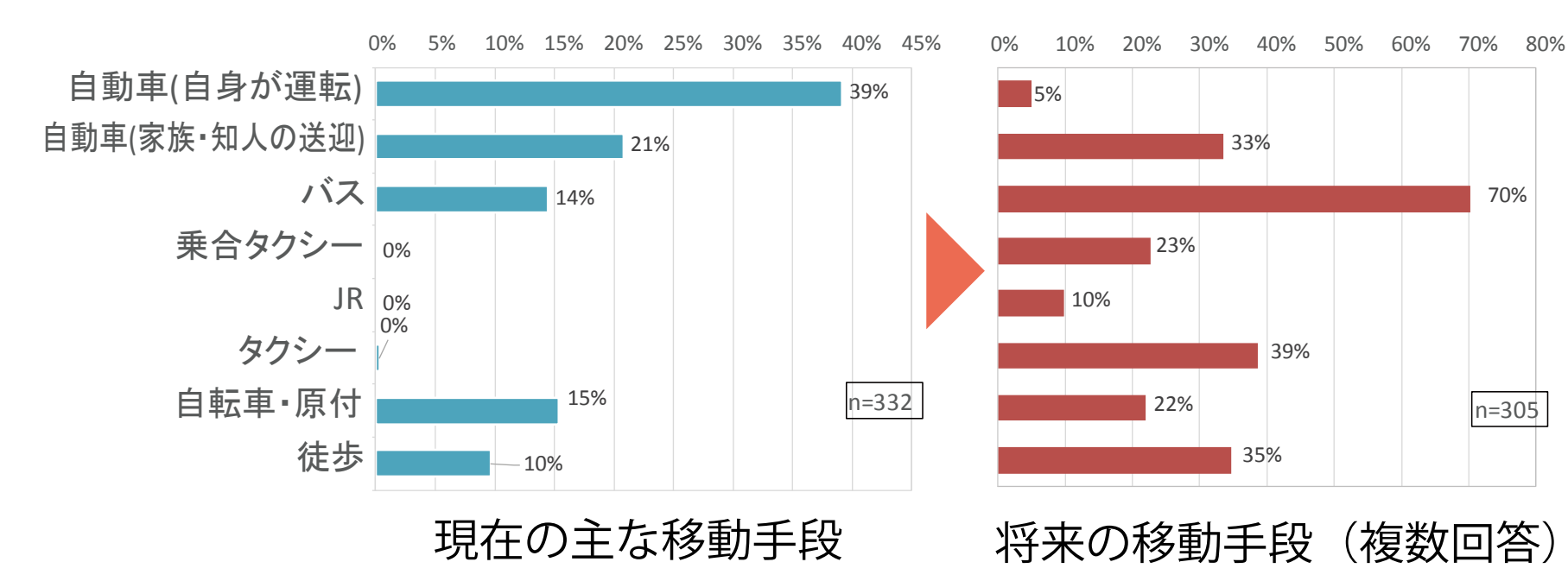
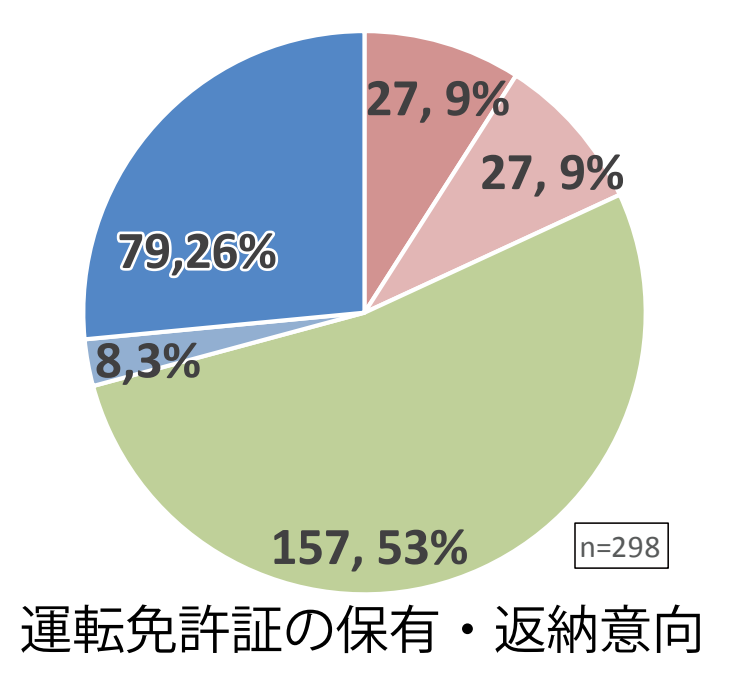
MM対象者：
体カアップ体操教室参加者
アクティブシニアの皆さん

540名



- 今後公共交通へ転換する可能性の高いアクティブシニアを対象
- 市内28カ所の体操教室にお邪魔して、MMについて説明、協力をお願いをしました！
- 65歳～80歳以上の女性の方々が中心
- 運転免許証は6割が保有。ほとんどの方が「現時点で返納するつもりは無いが、将来的に検討する」意向
- 返納後は7割の方がバスを使いたいです

回答者 **355名**
返信無 **185名**
回答率 **66%**



STEP 2
転換目標調査・利用促進
11-12月訪問

28カ所を再訪問、お試し乗車券を含む利用促進6点セットを手渡し、運営者も協力！

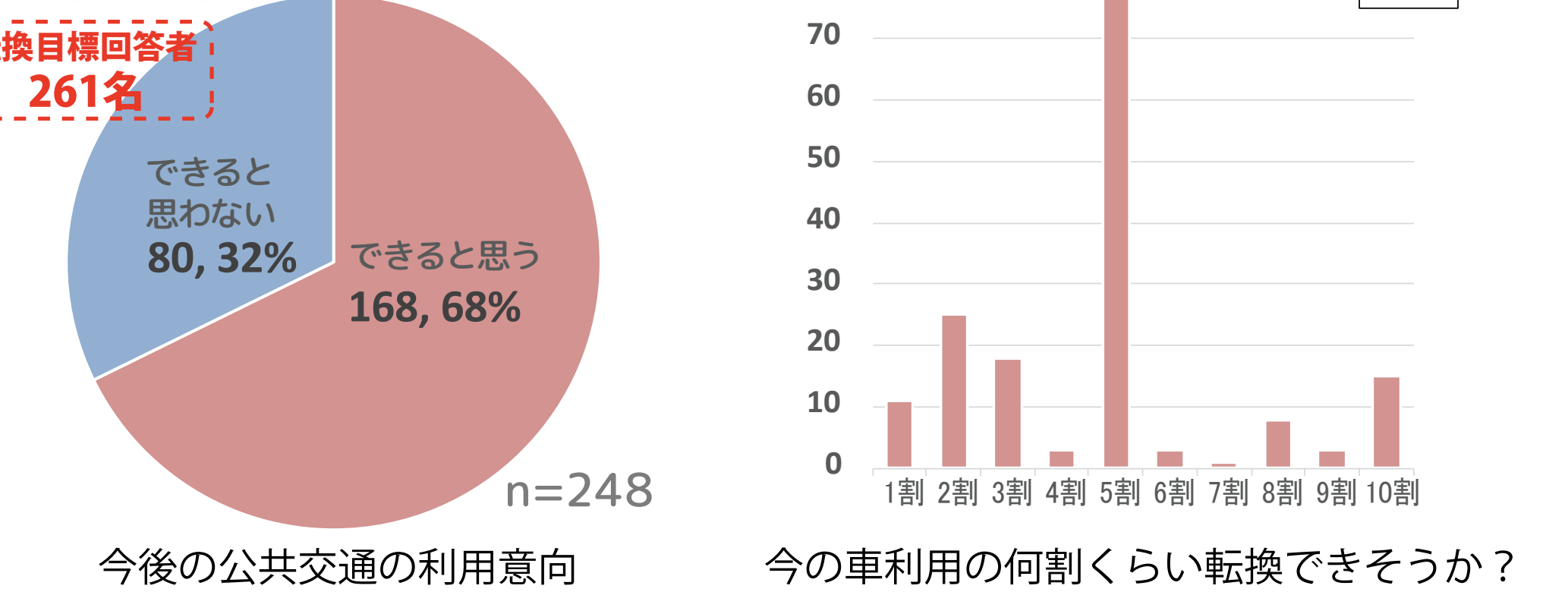
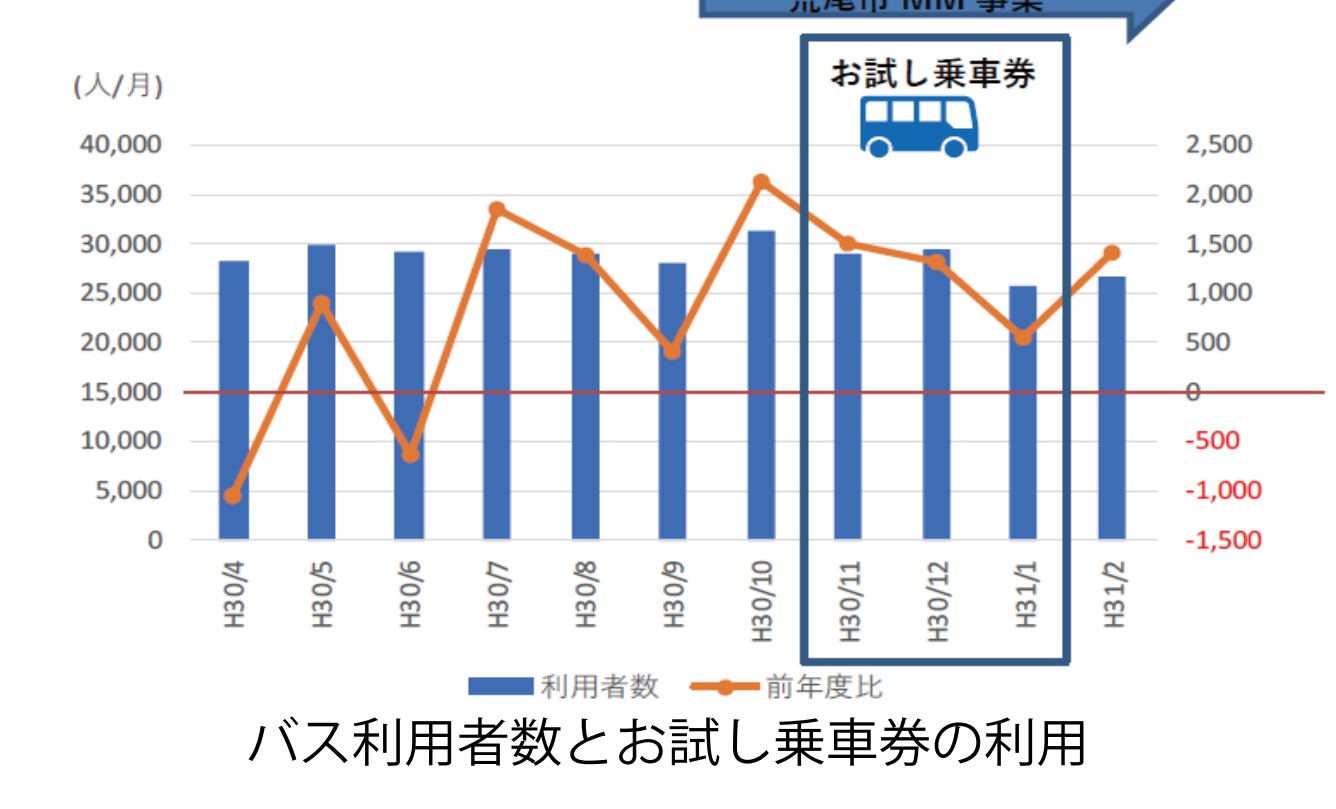
- 28カ所の体操教室に2回目の訪問
- バスなどの公共交通を使ってもらうため「利用促進6点セット」を参加者に手渡しして、公共交通を使っただけように呼び掛けしました。



STEP 3
バス利用体験
12-1月

お試し乗車券は、2ヶ月で277枚の利用、約半数の方が利用

● お試し乗車券は、2ヶ月間で277枚利用してもらい、バスの利用者増にも貢献しました。

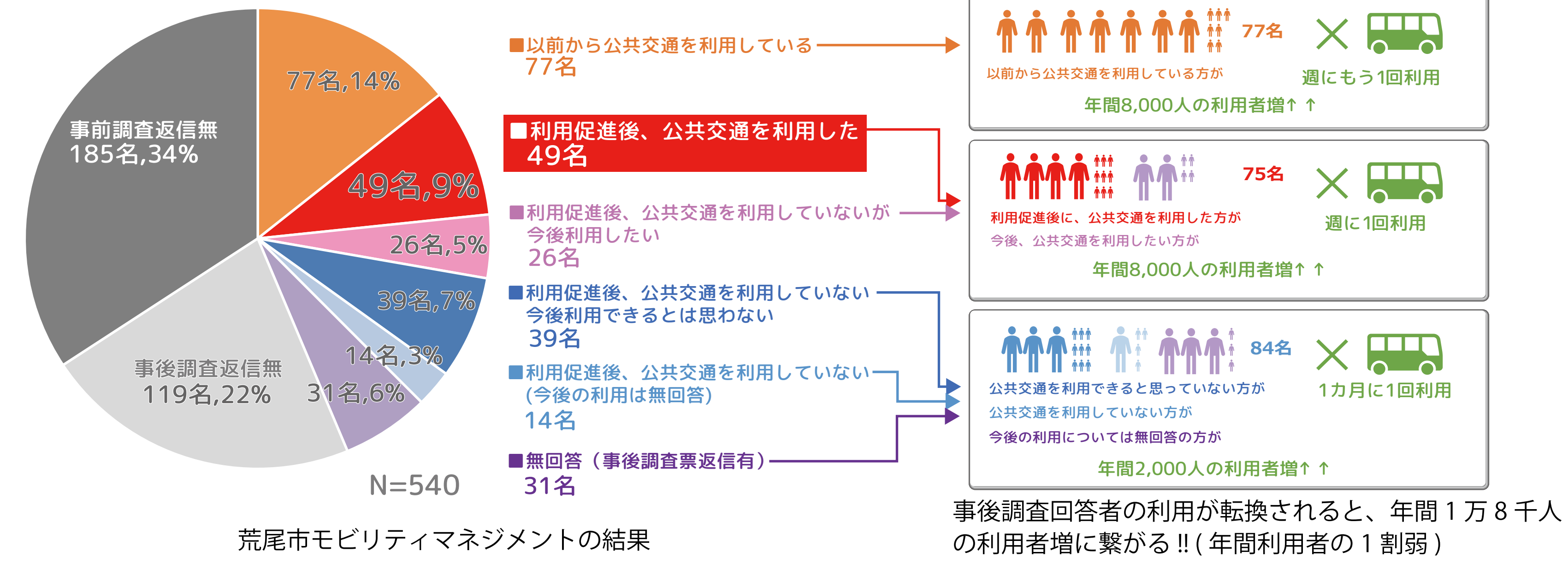


STEP 4
事後調査
1月郵送

これまで利用していなかった49名が利用促進後、公共交通を利用(全参加者の約1割)

- これまで公共交通を利用していなかった49名が、利用促進後に公共交通を利用(全参加者の約1割)
- 事後調査回答者の利用が転換されると、年間1万8千人の利用者増に(年間利用者の約1割弱)

回答者 **201名**
返信無 **154名**
回答率 **58%**



STEP 5
フィードバック調査
5月郵送

今後さらに公共交通利用を増やしていい方が48名(全参加者の約1割)

- フィードバック冊子として、事業の結果、利用して支える公共交通、カロリーやCO2の変化、バスの割引サービス、高齢者の事故、免許返納、についてお返し
- 冊子を見て、今後さらに公共交通利用を増やしてもいい方が48名にものぼりました(全参加者の約1割)

回答者 **94名**
返信無 **154名**
回答率 **47%**

